

SHARP

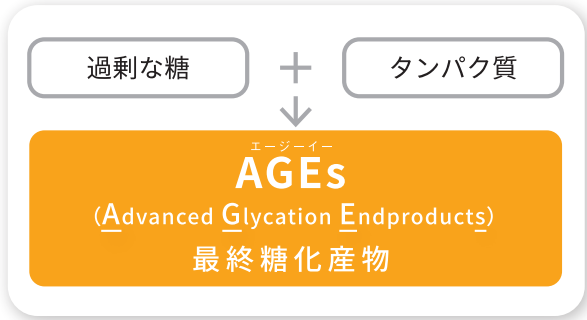
生活習慣チェックの新常識へ

最終糖化産物(AGEs)
測定機



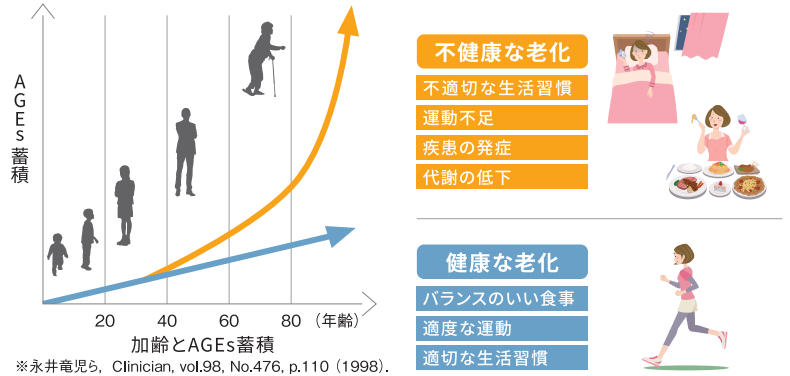
AGEsとは...?

食事などで過剰に摂取した糖とヒトのカラダを主に構成しているタンパク質が結びつくことで体内に生成される物質で、最終糖化産物 (Advanced Glycation Endproducts) ※1と呼ばれています。ヒトの加齢現象や健康に関わる物質として、近年研究が進んでいます。肌、血管、骨なども主にタンパク質からできており、このタンパク質が糖と結びついて、糖化が進むとタンパク質は本来の働きができなくなり、カラダの機能に様々な変化が生じます。



AGEsスコアは「生活習慣の成績表」。

健康的な生活を送っている人は、加齢にともなうAGEsの蓄積はそれほど多くはありません (健康な老化) ※2。しかし、不適切な食生活や生活習慣、運動不足などにより、AGEsの体内での蓄積は急激に増加していきます (不健康な老化) ※3-6。このため、AGEsは体内における「生活習慣のバイオマーカー」※7と言われ、そのAGEsスコアは、いわばその人の「生活習慣の成績表」と言えます。また、AGEsの蓄積が健康面や美容面でも体内の生理現象にさまざまな悪影響を与えることも、近年明らかになっています※8-10。



※永井竜児ら, Clinician, vol.98, No.476, p.110 (1998).

※1 Nagai R, et al., Biochem Soc Trans. 31,1438-1440(2003). ※2 John A, et al., Biochemistry,30, 1205-1210 (1991). ※3 Nagai R, et al., Clinician, vol.98, p.110(1998) ※4 Buongiorno AM, et al., J Endocrinol Invest.31,558-562 (2008). ※5 Beisswenger P J, et al., J Clin Invest.92, 212-217(1993). ※6 Sakata N, et al., Atherosclerosis. 142, 67-77 (1999). ※7 Nagai R, et al., J Clin Biochem Nutr. 55,1-6(2014). ※8 Kume S, et al., Am J Pathol. 147, 3, 654-667 (1995). ※9 Nagai R, et al., J Clin Biochem Nutr. 55, 1-6 (2014). ※10 Dyer DG, et al., J Clin Invest. 91, 2463-2469 (1993).

AGEsセンサ 製品概要

製品特長

測定者にやさしい光センシング測定

血液採取が不要なため、心理的な負担が少なく老若男女問わず簡単に測定いただけます。

測定精度と再現性を高める指先測定

指先の内側面にはメラニン蓄積がほとんどなく、太い血管もないことから、測定誤差を低減することができます。また、固定もしやすいため、同一箇所を測定しやすくなることができます。

測定者の負担を軽減する迅速測定※

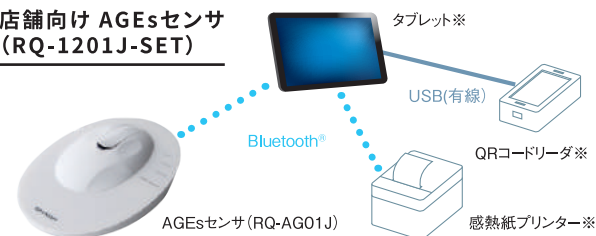
独自の光センシング技術と回路技術により、わずか数十秒の迅速な測定が可能です。

※血液採取によって測定した場合との比較



システム構成図

店舗向け AGEsセンサ (RQ-1201J-SET)



※ タブレット、QRコードリーダー、感熱紙プリンタも本製品 (RQ-1201J-SET) に含まれます。AGEsセンサ、AGEsセンサソフトウェア、周辺機器はセットでの販売となります。各々単体での取扱はありません。
※ RQ-AG1201J-SETシステム全体で使用する場合、AGEsセンサ/プリンター/タブレットのAC電源としてコンセントが3ヶ所必要です。

仕様

AGEsセンサ本体

名称/形名	AGEsセンサ/RQ-AG01J	環境条件	使用温湿度:10~40℃、30~85% RH (ただし、結露しないこと)
入出力端子	DC入力端子 x1		保管温湿度:-10~55℃、30~95% RH (ただし、結露しないこと)
Bluetooth®1	Bluetooth 規格 Ver. 3.0 + EDR	測定光源	発光ダイオード
外形寸法	幅196mm x 奥行285mm x 高さ67mm		照度条件
質量	約775g	設置場所	直射日光など、粉塵、振動、水、大きな温度変化は避ける
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	2.2W		

※1 本機と接続する機器の通信推奨範囲は、2~3mです。ただし、接続する機器の性能、設置場所、遮へい物の材質、周囲の電波や温度による影響やデータ転送速度など、使用環境によっては通信距離が短くなったり、通信できなくなったりする場合があります。
※2 直射日光が当たらない屋内環境でお使いください。屋内でも日光の影響を受けやすい窓際や、スポットライトの下など、強い光の照射や変動がおきている環境ではお使いいただけません。

商標について • Bluetoothは、米国 Bluetooth Sig, Inc. の登録商標であり、シャーププライサイエンス株式会社はライセンスのもとでつき使用しています。• その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

この製品は医療機器ではありません

この製品で測定した結果を治療、診断などの医療行為に用いることはできません。測定結果に関係なく病気などの不安がある場合には医師の診断を受けてください。